

あかつき



写真：高尾山山頂より（撮影 T.T）

スポット

- ・新年のご挨拶
- ・事業所近況報告
- ・研修報告・地鎮祭
- ・新人紹介
- ・インフォメーション

第90号 2026年1月31日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平1-64-1

☎042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

社会福祉法人あかつきコロニー理念

共に働く 共に生きる 共に創る

基本方針

1. ご利用者の意志と人格を尊重し、働く場の提供と就労支援を行うことによって、社会参加と自立を促進します。
2. ご利用者、職員ひとりひとりの職業技術の向上に務め、仕事の質を高い水準で保ちます。
3. 同じ目的を持つ地域の団体や施設と連携・協力し合いながら、障害者の就労や生活支援に取り組み、拠点的機能を果たします。
4. 「働く場を自ら切り拓く」という創設の理念を受け継ぎ、より良い未来を築くため、新しい事業に挑戦し続けます。
5. ご利用者、ご家族、職員など、法人にかかわる全ての人々にとって、安心と連帯感を提供します。



新年あいさつ

理事長 鈴木賢一

あけましておめでとうございます。この地図帳に日本単体の地図として収録されたのがテイセラ日本図（写真1）です。

無事成立し、解体工事も完了、着々と建設が進んでおります。今年の夏頃には完成の予定です。

さて、年始の挨拶に何を書こうかと毎年考えを巡らせているのですが、今回は、私の趣味である古地図の収集に因んで、古地図について触れたいと思います。

古地図は我々の祖先が残してくれた貴重な文献であります。古地図により往時の地形、地名、道路、川筋等を知ることができ、これを現在のものと比較すれば、その変化してきた有様がよくわかります。また地図の作製技術や印刷技術の水準もわかり、その美しき彩色は美術に通じ、我国の地図史、美術史上の重要な資料でもあります。日本が初めて世界に登場したのは一五七〇年欧州刊行のオルテリウスによる近代地図帳「世界の舞台」です。その後、一五九五年に



写真1

日本という島国を多少なりとも正確に示した初めての西洋製印刷地図で、東西に長い配置ながら、島の東部が北の方向に傾いています。ただし本州最北端（大間崎）が実際には北緯四一度二九分に位置するところ、三七度を僅かに超えたところになっています。九州は北緯三五度付近まで達しています

が、実際は北緯三四度です。それでも主要四島のうち三島と周辺の島々がはつきり示されています。



写真2

（写真2）は一六五八年頃パリで作成されたもので、テイセラ日本図に続いて世界で二番目に古い日本図となります。作者はフランスの神父、フィリップ・ブリエで、イエズス会の神父たちの記憶に基づいて描かれました。サイズは三七×五二センチ、四辺の全てに緯度と経度の座標が表示されています。注目すべきはYENDO（江戸）、Tanegaxima（種子島）、Nagasaki（能登）、等ローマ字で書かれている地名です。残念ながら写真では確認できませんので是非実物をご覧になっていただきたいと思えます。

日本国内では伊能忠敬が有名です。例えば一八〇四年作成の「東海道歴史州中国到越前沿海図上（伊能忠海記念館蔵）は江戸幕府の地図作成事業の一環で、庶民に出回ることはありませんでした。十八世紀後半にかけてロシア船をはじめ欧州諸国が来港し日本と接触してきたため、正確な地図を作ることが時代の要請となったのです。尚、江戸幕府はたびたび全国規模の地図作成事業をおこし、諸大名に領地の地図を提出させ、これに基づいた日本地図も作りました。勿論これは国土支配のための資料としたもので、全国の石高、租税などの調査も併せて実施し、その記録も地図に付して提出させました。これ等の官撰図は高い精度と詳しい内容を持ち、江戸時代を通じて国土の基本地図となったのです。さて話一転、私事ですが昨年の年初、一月五日より大腸癌で入院しました。ステージIVと言われ、非常に心配しましたが、開腹はせずにダ・ヴィンチという新しい機械を使用した腹腔鏡手術を行いました。二〇日間程で退院できました。最近の医学の進歩には本当に驚かされます。今はゴルフに何回も行くほど元気になっております。三年ほど前に、就労支援事業として長年続けてきたオイルエレメント組立を閉鎖しました。厳しい決断ではありましたが、その後の自動車産業の動向を見るにつけ、当時の判断は間違いではなかったと今は思っております。なかなか先を見通すことが難しい現代、判断力・実行力が非常に試されると実感しています。今のこの判断がこの先どのような結果を生むのか常に意識して進めなければなりません。不確実な時代に方向性を間違えることなく舵取りする重責を改めて感じております。今年には建替えを終え、新しい事業も立ち上がります。大きな変化を前に、揺らぐことなく、着実に前進していくことが私の願いであります。皆様と共に、改めてお願いする次第であります。地図は歴史を物語ってくれます。あかつきロニーのこれまでの歴史、そしてこれから作る歴史に思いを重ねて、建屋が完成した暁には私が所有している古地図を贈呈したいと思います。



新年あいさつ

常務理事 高橋 毅

あけましておめでとうございます。令和も早いもので8年目の年となり、法人も創立58年目の年を迎えることとなりました。

体工事が始まり、12月から新築工事に移行し、今年7月末竣工を目途に工事が進んでいる状況です。解体工事だけで6ヶ月ほど費や

昨年はおかつきコロナにとつて本当に忙しい年でした。通常でも忙しくて大変な就労支援事業や障害福祉サービス業務に加えて、仮設施設への引っ越し、4拠点に分かれての施設運営、送迎体制の強化等、拠点間の連携を常に図っていく必要があります。利用者・職員の皆様には多くの負担をかけることになりました。皆様の多大なご協力のおかげで、施設運営を無事継続することができ、この誌面を借りて感謝を述べたいと思います。ただ今現在でもこの状況が続いており、今後とも皆様のご支援・ご協力を願います。

「りんく」という名称になる予定です。建物のフロアは1階に生活介護と相談支援センターが入り、2階に旧あかつき授産所、3階に旧スペースまどか、4階に給食の食堂と厨房が入ることになります。食堂は南側に窓を広くとっているので、天気の良い日には富士山を見ながら食事ができます。

あかつきコロナにとつて、一般就労の訓練施設は必要なサービスであること、当法人が在所する武蔵村山市には他に就労移行支援がないことから、6名定員に規模を小さくして再興することとしました。生活介護は定員10名で初めて行う事業になりますが、10年前から指定管理で瑞穂町心身障害者

（児）福祉センターあゆみの地域活動支援センターにて、介助が必要な障害が重たい利用者の支援を続けてきた経験があり、その経験を生かしたサービスを行ってまいります。また機械浴槽を導入します。ニーズが大きい入浴サービスを提供できるのが特徴です。日中は活動は機能訓練や創作活動、レクリエーション等を考えています。工事竣工後には見学会等も実施していく予定です。皆様におかれましては、リニューアルされたあかつきコロナを是非ご覧いただきたいと思っております。本年も皆様のご指導、ご協力のもと障害者の自立支援、就労支援に尽力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

現所在地にて建て替えを行っているため、工事中は仮設施設にて事業を継続しており、スペースまどかは一か所にまとまったの移転でしたが、あかつき授産所は人数が多いため、2ヶ所に分かれて事業を継続中です。仮設施設の作業場は手狭なため、そこで働く利用者・職員には色々とお不便をおかけしているところですが、その様な環境でも日々仕事に従事していただいております。感謝の念に堪えません。

統一される就労継続支援B型は、基本現在の体制を継続していきま

支援も継続して行っています。就労移行支援は先程新設と述べましたが、以前あかつきコロナで行っていた事業であり、令和5年3月末で廃止した経緯があります。多くの就職者を輩出し、実績を多く残した施設でしたが、定員20名の単独施設として事業を続けていけなくなり廃止となりました。しかし総合的な就労支援を目指す

支援の向上や職員の連携強化を図ることができま

仮設施設工事を実施、6月から解

規オープンする予定ですが、施設の

新館イメージA

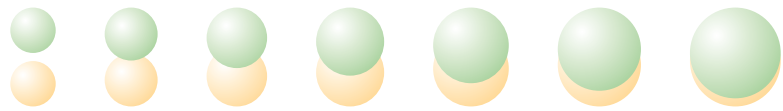


新館イメージA



新館イメージB

近況報告



●あかつき授産所●

令和7年11月14日(金)、「さいたま水族館」への日帰りバス旅行を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、参加者一同、和やかな雰囲気の中で秋の一日を満喫することができました。旅行にはバス2台に分乗して利用者34名、職員18名が参加しました。旅行当日は埼玉県民の日と週末ということもあり、道中では予想外の渋滞に巻き込まれる場面があり予定より到着が遅れる場面もありましたが、到着後は「ぎゅらりいからん」にて昼食をいただきました。落ち着いた雰囲気の店内で、季節感あふれる料理を楽しみ、昼食をいただきました。



午後は、さいたま水族館を見学。荒川をはじめとした関東の川に生息する淡水魚の展示は見応えがあり、自然環境や生態系について改めて学ぶ良い機会となりました。水槽の前では会話も弾み、写真撮影を楽しむ姿も多く見られました。

行きは渋滞というハプニングもありましたが、それも含めて印象に残る日帰り旅行となりました。

(長沼 剛司)



●スペース・まどか●

まどかで行っている「軽作業」、具体的に何をしているのか皆さんはご存じですか？

作業の中でも特に多くを占めるのは、ダイレクトメールの封入です。この作業は近隣市から遠くは朝霞市(埼玉)まで幾つかの業者さんと取引しています。作業の基本として入荷した部材数のチェックから始まり、封入点数の確認、封入向きの確認、重さの確認、住所ラベル貼り位置の確認と検品を重ねながらミスの無いように取り組んでいます。

カプセルトイの封入というちょっと変わった作業もあります。カプセルと言っても皆さんが想像するような一般的な丸いものではなく、四角い小箱へ品物を入れていきます。品物を小箱に入れ、封を閉じ、番号シールを貼り、段ボールに詰めていくという流れで行いますが、一人で黙々と取り組めるものではなく、周囲との協力が欠かせません。かわいキャラクターものがあつたりもするので、好きなキャラクターが来たときなどはテンションが上がったりします。

また、最近ではさくらと共同でパソコンの梱包材組み立てを開始しました。段ボール資材で作業しやすい反面、傷がつきやすかったり、折の向きに注意が必要だったり細かい留意事項があるため、作業としてはなかなか手強いです。作業を細分化して取り組むこともできるため、工夫次第でできるだけきれいに数をこなせると考えています。

他にも様々な作業がありますが、それはまた次の機会に。

日々作業に追われているまどかの面々ですが、11月21日には日帰り旅行に行ってきました。今回は、群馬県まで足を延ばしてきました。昼食は伊香保名物の水澤うどんです。うどんはコシが強く、自分で胡麻を擦ってつけ汁につけて



食べるという普段体験しない食べ方が新鮮でした。天ぷらも大きくて食べ応えがあり、更に土瓶蒸までついていました。贅沢なひと時を過ごした後は「おもちゃと人形自動車博物館」を見学しました。年代物のティンペアや、昭和レトロな商店街の雰囲気の中、当時の風景や懐かしのおもちゃが展示されていました。また、博物館の後半では国内外の旧車がずらりと並び、車好きの方などは時間いっぱいまで眺めていました。当日はお天気にも恵まれ、皆さん楽しまれたと思います。

(藤澤 真司)

● 瑞穂町福祉作業所 さくら ●

毎年恒例の秋の日帰り旅行ですが、今年は「横浜中華街&羽田空港」と題しまして令和7年11月12日（金）に行ってきました。

朝は通常よりも早めに集合、大型バスに乗って横浜中華街へ。中華街では本場の中華バイキングを食べてきました。メニュー表から選んで注文するとウェイトレスさんがそれぞれの席まで運んでくれました。メニューも豊富で沢山の種類の中から選ぶのも大変でした。出てきた料理も1人前にもかかわらず量が多めでお腹が満腹になるのに十分な量でした。しかもどの料理も本当に美味しくて皆非常に満足しながら来る料理来る料理全てを楽しみました。何名かの利用者さんに伺うと、日帰り旅行歴代ナンバー1のバイキングと自信をもって答えていたのがとても印象的でした。

その次は羽田空港へ向かいましたが30分程で到着しました。到着後まず全員で展望デッキへ向かいましたら大きな飛行場、滑走路、そして大きな飛行機が何機も目の前に現れました。空を飛んでいる飛行機もあり、数分ごとに離着陸を繰り返しており、圧巻な風景に興奮を隠せない利用者さん達はまるで目がまん丸になったかのように、フェンスの方へ行ってずっと見ていました。

そのあとは班ごとに分かれてお土産を買ったりして時間を過ごしました。しかし時間があまりなくゆっくりとお店をみるのが難しい状況でした。そんな中でも利用者の皆様全員がお土産を持って帰りのバスに乗り込むことができました。本音を言うともう少し時間に余裕があればゆっくりと見て回る事ができましたが、残念でしたがそこは致し方ない部分でもありました。

昨年は高速道路が渋滞で予定より3時間程帰宅が遅くなってしまいましたが、今回は道もほとんどスムーズに通過することができ、予定より20分程の遅れでさくらに到着することができました。

誰一人怪我もなく、移動のスムーズさも含め「横浜中華街&羽田空港」は大成功の日帰り旅行になったと思います。さて来年はどんな旅行になるか今から楽しみにして1年間仕事に邁進したいと思います。（西出 英高）



● 瑞穂町心身障害者(児)福祉センター あゆみ ●

あゆみの近況についてですが、地域活動支援センターにおいては、9月には大型バスを利用した日帰り旅行、10月には地域にある保育園との交流会と社会福祉協議会主催のふれあい祭り、そして11月には瑞穂町主催の産業まつりに参加しました。12月には毎年料理が楽しみなクリスマス会を皆で企画し行いました。

今回のクリスマス会は、職員の方で実行委員を設け、当日の料理、飾りはどうするか、また、レクリエーションはどうするか等試行錯誤しながら取り組んできました。当日午前中はレクリエーションとして皆で借り物競争をし、昼食はガストのパーティーセットを注文し、サラダ、野菜スープを職員で作り、食後にはケーキを皆で食べました。利用者の方は8名の参加があり、皆さんお腹いっぱい食べました。中にはその日の夕飯が食べられない方もいらっしゃったようでした。

また、障害児等タイムケアにおいては、瑞穂町より令和7年度（令和8年3月末）での事業終了が決まったことを受け、今年度中で利用者の皆さんには別の事業所へ移行していただくことになっており、現在も保護者様と計画相談事業所で新しく出来た放課後等デイサービス事業所等への見学、体験を行いながら利用について検討していただいている状況です。少しずつ他の事業所への移行が出来ている方もいらっしゃいますが、3月末まではタイムケアを利用される方もいらっしゃいますので、あゆみとしても利用者の安全確保のために職員体制をしっかり維持しながら取り組んでいきます。

タイムケアでの行事としては、11月に日帰り旅行を企画し皆でディズニーランドへ行ってきました。また、12月にはクリスマス会を地活同様行い、皆でおいしい料理とケーキを食べました。クリスマス会では、イオンむさし村山店の職員によるクリスマスの音楽生演奏、そして、クリスマスプレゼントをいただき、楽しく過ごすことが出来ました。

今後とも2つの事業の利用者皆さんが、あゆみ内外での活動において、楽しく過ごしていただけるよう職員一同安全を期して取り組んでいきたいと思ひます。（五十嵐 崇）



研修報告

強度行動障害支援者養成基礎研修

あかつき授産所 田中駿佑

令和7年度東京都強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講させていただきました。

カリキュラムは、オンデマンド配信による講義（390分）と集合形式によるグループワーク演習（330分）に分かれており、配信での講義では強度行動障害とはどのような状態なのかチーム

視線などの非言語コミュニケーションが難しい・話し言葉で伝えるのが難しく、どのように伝えてよいかわからない事）や感覚の特性（聴覚の過敏や鈍麻がある）・想像力の特性（細部が気になり違いに敏感・少しの違いで大きな不安を感じる事）を学びました。

としての支援の統一の重要性について、実践報告として当事者の方がどのように作業しているか、グループホームの様子が報告されており、支援方法が確立されるまでの動きや実際支援をしている場面がうつつされ勉強になりました。またご家族から生育歴や嬉しかった事・困った事等のお話を伺うことができ、大変貴重な時間となりました。

つぎに用意された事例を元に課題となる行動や特性を整理し「氷山モデルシート」とよばれる表を用いて当事者の特性や置かれている状況から必要なサポートを考える演習を行いました。私自身以前から問題となる行動に対して置かれている状況を含め支援内容を考えるよう、心掛けていましたが、「氷山モデルシート」は情報を整理する際とてもみややく今後の業務の中で生かしていきたいと感じました。

多摩市LINKFORESTが会場となったグループワーク演習では、まず様々なシチュエーションの中でひとりずつ役割を与えられ見えないものの理解が難しい状況や抽象的な表現での理解が難しい状況を実際に体験し当事者の方にある社会性の特徴（相手から期待されている事を理解するのが難しい・見えないものの理解が難しい）・コミュニケーションの特性（抽象的であいまいな表現の理解が難しい・話し言葉の理解が難しい・一度にたくさん

の事を理解するのが難しい・表情や様子など）の理解が難しい・話し言葉で伝えるのが難しく、どのように伝えてよいかわからない事）や感覚の特性（聴覚の過敏や鈍麻がある）・想像力の特性（細部が気になり違いに敏感・少しの違いで大きな不安を感じる事）を学びました。演習で同じグループとなった方々は様々な職種（ヘルパー事業所・相談支援・障害児支援施設など）がいらっしやりの視点も様々で勉強になり、休憩時間には普段の仕事のなかで困った事やよいと思っている点についてお話を伺うことができ有意義な時間となりました。1月には強度行動障害支援者養成研修の実践研修を受講させていただき予定となっている為今後もしっかり学んで支援の質をあげていけるように取り組んでいきたいと思っております。

地鎮祭を執り行いました

昨年の6月から行っていた建物の解体工事が11月に終わりました。いよいよ新築工事が始まりましたが、その前に地鎮祭を行いました。実は当初は予定していなかったのですが、一部の（否、多くの…）職員からの強い希望により地鎮祭の実施が決まりました。

地鎮祭には、土地の地主神に建築の許可を頂き、工事中の安全と建屋の完成後も長くこの地で安心して暮らせる様お願いする意味があります。今回は、長年印刷を発注頂いている地元神社に依頼し、地鎮祭を執り行つて頂きました。

この地にあかつきコロニーが建つてから早51年、その間、大きな事故もなく、近年では老朽化による不具合はあったとはいえ、結果的に無事に過ごすことができましたのも地主神のお陰だったのかもしれません。これまでの感謝と共に神様には改めて今後数十年の安寧をお願いした次第です。

新築工事に向けて各事業所が仮移転先へ分散しているため、全員が参加することは出来ませんでした。したが、工事現場に最も近い第二作業所に移転した利用者職員は全員で参加して祈願しました。

厳かな雰囲気の中、粛々と神事は進んでいきました。途中で集中できなくなったり落ち着かなく

なってしまうたりしないかと心配もありましたが、皆、神妙な面持ちで神事を見守り最後まで参加しました。地鎮祭に参加する機会など普段の生活ではそうそう無いと思いますので貴重な体験だったのではないかと思います。

地鎮祭を執り行つてくださった宮司様、この日のためにご準備を下さった皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。無事にこの日を迎えられたのも、建築に携わる皆様のお陰であることに改めて感謝いたしますとともに引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。



22	地域公共交通会議	(戸村)	10月	13	ゼンコロ理事会・総会	(富田・茂木・神山)
25	虐待防止・権利擁護研修	(遠藤)	1	依存症研修	(富田)	あすはの会事例報告会
28	就労ネット	(鈴木)	2	瑞穂町社会福祉法人会・部会	(西出)	(神山・増淵)
29	虐待防止・権利擁護研修	(小俣)	9	初任研修ファシリ	(神山)	26 武蔵村山市地域相談支援部会 コア会議
9月			(10日迄)	神山		
1	虐待防止・権利擁護研修	(茂木)	10	精神業務連絡会	(富田)	*出張・研修にはリモートによる 会議も含まれます。
2	虐待防止・権利擁護研修	(戸村)	16	武蔵村山市地域相談支援部会 コア会議	(神山)	
3	西多摩就労支援機関連絡会	(奥谷)	17	瑞穂町計画相談連絡会	(増淵)	
9	高次脳機能障害者支援研修	(富田・鈴木)	21	武蔵村山市地域相談支援部会	(神山)	
	精神障害者就労定着支援連絡会	(奥谷)	23	武蔵村山市就労支援部会	(神山)	
11	瑞穂町計画相談連絡会	(増淵)	23	サビ管更新研修	(富田・鈴木・茂木・神山)	■入所
	初任研F.T講義	(神山)	24	就労ネット	(鈴木・田中隆)	9月 小林 淳二 (授産所)
	所内研修(ハイスティック七原則)	(神山)	24	就労支援課題別セミナー	(利根川)	11月 橋本 達典 (授産所)
	地域連携会議	(藤澤・富田)	30	東久留米特支連絡会	(利根川)	12月 吉良 雅裕 (とらい)
12	相談支援連絡会	(神山)	30	安全運転管理者講習	(戸村)	
16	所内研修(ハイスティック七原則)	(利根川・奥谷)	11月	武蔵村山市自立支援協議会	(神山)	
17	武蔵村山市自立支援協議会	(永井)	11月	会長会議	(高橋・富田)	
19	会長会議	(高橋・富田)	6	武蔵村山市自立支援協議会	(高橋・富田)	
22	初任研F.T講義	(神山)	11月	初任研修ファシリ	(神山)	
24	瑞穂町社福法人連絡会全体会	(戸村)	11月	ゼンコロ運営委員会	(13日迄)	遠藤
25	行動障害基礎研修	(田中駿)	11	武蔵村山市自立支援協議会	(12日迄)	増淵・遠藤
26	就労ネット	(鈴木・田中隆)	10	差別解消法講演会	(秋山)	
30	4市合同相談支援交流会	(神山)	8	瑞穂町就労部会	(戸村・利根川)	
	多摩連絡会議	(富田)	8	差分解消法講演会	(秋山)	
	サビ管更新研修	(永井)	10	ゼンコロスキルアップ研修	(12日迄)	増淵・遠藤
	高次脳機能障害基礎研修	(増淵)	15	WJ理事会	(高橋)	
	サビ管更新研修	(永井)	16	武蔵村山市地域相談支援部会	(神山)	
	高次脳機能障害基礎研修	(増淵)	17	武蔵村山市就労支援部会	(利根川)	



寄贈

10月15日、ブルミッシュ様よりお菓子のご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

12月25日、福祉センターあゆみにおいて、イオンモールむさし村山様よりクリスマスプレゼントのご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

編集後記

今年はず年です。一般的に飛躍の年と言われますが、垂直飛びと走り高跳びでは飛べる高さが全く違います。昨年以前の助走期間の取り組みによっても、今年どこまで跳べるかわわつてくると思います。：私ですか？その場しのぎの付け焼刃のような日々を送っている自分には飛躍という言葉は縁がなさそうです(笑)

さて、今年はず年です。個人的には飛躍というよりは変化と言った方がしっくりくるのですが、その変化があかつきにとつての飛躍となることを願って進んでいきたいと思えます。

皆様、今年もどうぞよろしくお願いたします。(E・M)